

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	公民館運営管理事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	06公民館費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	010公民館運営管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	社会教育法、加古川市立公民館の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則		

【現状と課題】

現状と課題	住民のニーズ、趣味、趣向が多様化し、公民館を取り巻く状況の変化が近年著しい。また、建設から相当年経過した館も多く、必要とされる設備の更新等を行う必要がある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
別府公民館以外の市立公民館 11館	管理及び施設整備の充実並びに各種事業の効果的な運営	管理及び施設整備の充実並びに各種事業の効果的な運営を行うことにより生涯学習推進体制の充実を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		8,628	8,631		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
管理運営は概ね円滑に行われている。今後さらに時代の変遷に伴った事業展開および設備の更新等を行い、より利用しやすい生涯学習活動拠点としたい。

※事業費と財源内訳

決算額	8,631	内訳	国費	県費	市債	他	830	一般	7,801
-----	-------	----	----	----	----	---	-----	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	生涯学習推進事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	01社会教育総務費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	010生涯学習推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	ガイドブックの内容をホームページで掲載し、より広く情報発信を行う。
-------	-----------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
生涯学習の機会を求める市民	多彩な学習機会の情報を掲載した「生涯学習ガイドブックすてっぷ」を発行し、市内全出先機関・関係機関に設置し、市民へ情報提供する。また同じ内容をホームページに掲載し、気軽に検索が可能な環境を作る。	市民が自主的・自発的に学習活動を行い、生きがいを持ち、心豊かに暮らすことができるよう、多様な学習機会の情報を提供することによって、学習活動で習得した知識・技術等の成果を地域に還元する。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		833	742		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
生涯学習ガイドブックすてっぷは、発刊分はばすて配布しており、適正な発行部数である。すてっぷの配布により生涯学習の情報提供、普及啓発は効果的に行われている。

※事業費と財源内訳

決算額	742	内訳	国費	県費	市債	他	一般	742
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	別府公民館管理運営事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	平成19年度～永年	目	06公民館費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	010公民館運営管理事業
地区別	別府地区		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	住民のニーズ、趣味、趣向が多様化し、公民館を取り巻く状況の変化が近年著しい。また、当館は指定管理者が管理運営しており、その独自性を生かして事業展開を図っている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
別府公民館	管理及び施設整備の充実並びに各種事業の効果的な運営	管理及び施設整備の充実並びに各種事業の効果的な運営を行うことにより生涯学習推進体制の充実を図る。				
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費		千円		21,650	21,650	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	指定管理者による管理運営が円滑に行われている。今後さらに時代の変遷に伴った事業展開および設備の更新等を行い、より利用しやすい生涯学習活動拠点としたい。
--	---

※事業費と財源内訳

決算額	21,650	内訳	国費	県費	市債	他	2,212	一般	19,438
-----	--------	----	----	----	----	---	-------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	公民館維持補修事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	06公民館費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	040公民館維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	社会教育法、加古川市立公民館の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則		

【現状と課題】

現状と課題	建設から相当年経過した館も多く、バリアフリー化や必要とされる設備の更新等を行う必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
別府公民館以外の市立公民館 11館	維持管理及び施設保守	適切な維持補修および定期的な施設保守を行うことで施設寿命の延長を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		87,985	88,588		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	公民館の施設保守および危険防止に努めているが、施設の老朽化に伴い、突発的な修繕箇所が増加している。
--	---

※事業費と財源内訳

決算額	88,588	内訳	国費	県費	市債	他	17,619	一般	70,969
-----	--------	----	----	----	----	---	--------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	社会教育委員、推進員設置事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	01社会教育総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005社会教育委員、推進員設置事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	社会教育法、加古川市社会教育委員条例、加古川市社会教育推進員設置に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	核家族化の進行に伴い、家庭の教育力の低下が指摘されており、学校、家庭、地域の連携による教育が求められている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
社会教育委員、社会教育推進員	・社会教育委員会議の開催・社会教育推進員の設置、研修によるリーダー養成	・社会教育委員会議を通して、社会教育の進行を図る。・社会教育に携わる指導者や地域のリーダーを養成するとともに、その資質や能力の向上を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川市社会教育委員数	人		14	14		
社会教育推進員数	人		393	391		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
社会教育委員会議開催回数	回		6	6		
社会教育推進員研修会開催回数	回		2	2		
活動指標分析結果	社会教育委員会議においては、年間6回開催し、社会教育行政について意見をいただいている。社会教育推進員研修会は、全推進員を対象に年2回開催し推進員としての資質向上を図る。					
事業費	千円		13,225	13,120		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
社会教育委員会議参加率	%		88.1	79.8	90	平成27年度
社会教育推進員研修会参加率	%		59.9	67.6	70	平成27年度
成果指標分析結果	推進員の全市研修会参加率は67.6%と増加した。今後も参加啓発が必要である。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 社会教育による地域づくり、生涯学習の推進には社会教育委員、社会教育推進員による活動が不可欠である。

※事業費と財源内訳

決算額	13,120	内訳	国費	県費	市債	他	一般	13,120
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	成人式実施事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	～ 永年	目	01社会教育総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010生涯学習推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	民法、国民の祝日に関する法律		

【現状と課題】

現状と課題	平成12年度より実施していた同窓会事業に、平成24年度より社会貢献事業を新たに加えて記念事業とし、各中学校単位で新成人自らが企画・運営しており、参加者の評価は概ね良好である。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
当該年度中に20歳到達する者	成人式記念式典の実施するとともに、新成人自らが各中学校単位で成人式記念事業を企画・運営する。				新成人を祝うとともに、社会人としての自覚を促す。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
当該年度20歳到達者数	人	2,764	2,784	2,756		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
成人式記念式典参加者数	人	1,600	1,600	1,600		
成人式記念事業(社会貢献事業)参加者数	人		193	114		
成人式記念事業(同窓会事業)参加者数	人		1,785	1,710		
活動指標分析結果	記念式典及び同窓会事業は約6割の参加率となっており、概ね良好な参加率となっているが、社会貢献事業は1割以下の参加率であり、参加率を伸ばす工夫が必要である。					
事業費	千円	2,596	2,621	4,079		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
成人式記念式典参加者満足度	%	47.2	42.4	38	50	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
成人式記念事業(社会貢献事業)参加者満足度	%		56	77	75	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
成人式記念事業(同窓会事業)参加者満足度	%		58.3	63	75	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	記念式典は総合体育館での開催となり、交通の便が悪かったこともあり、満足度は低下した。一方、記念事業のうち社会貢献事業については、雨天による中止の影響で参加者数は減少したものの、参加者の満足度は昨年より上昇している。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
事業全体にわたって新成人の参画により運営しており、社会人への自覚を促す事業として概ね良好な結果を得ている。今後は新成人がさらに主体的に地域に貢献できる事業とすることが望まれる。

※事業費と財源内訳

決算額	4,079	内訳	国費	県費	市債	他	一般	4,079
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	地域学講座事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	平成23年度～永年	目	06公民館費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	055地域コミュニティ事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	社会教育法、加古川市立公民館の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則		

【現状と課題】

現状と課題	公民館を地域交流拠点・絆づくりの拠点と位置づけ、地域コミュニティの活性化を図るため、平成23年度において公民館事業の再編を行った。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
居住地域に関心をもつ市民	各公民館エリアの歴史・文化・産業などをテーマとした講座を開催する。				居住する地域を愛する意識の高揚を図るとともに、各地域において伝統伝承などの語り部の育成を図る。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川市人口(4/1付推計人口)	人		268,038	268,001		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
講座開催回数	回		94	93		
活動指標分析結果	地域の歴史や文化などを学び、ふるさとへの愛着を深めるとともに、学んだ人たちがガイドボランティアとして活動するような意欲を持てるような講座を開催していく。					
事業費	千円	1,390	1,080	1,093		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
ボランティア希望者数	人		50	35	50	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		24	30	45		
講座参加者数	人			365	370	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			364	406		
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	受講生アンケートの結果から、ボランティアとしての活動に意欲を示した方がいた。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
趣味や教養を高めるための知識を習得するといった自己完結型な学習だけでなく、地域との協働を推進するとともに、学習成果を地域で活用することを視野に置き、学びの循環を構築することが必要である。	

※事業費と財源内訳

決算額	1,093	内訳	国費	県費	市債	他	1,093	一般
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	地域リーダー養成事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	平成23年度～永年	目	06公民館費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	055地域コミュニティ事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	社会教育法		

【現状と課題】

現状と課題	地域の人々、友人、世代を超えた人々との間の「顔の見える」助け合いにより行われる「互助」の必要性がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
目的をもって既に活動している公民館内の登録団体会員・社会教育推進員・少年団指導者・新たな活動のリーダーを担う者	事業目的を達成するために効果が得られる講師。地域課題の解決、より良い地域づくりをするための具体的な学習及び活動(登録団体、社会教育推進委員、少年団等を対象とした学習会等の実施)				地域コミュニティ活動を活性化させるための様々なリーダーの養成を図る。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川市人口(4/1付推計人口)	人		268,038	268,001		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
講座開催回数	回		94	108		
活動指標分析結果	ボランティア養成講座など地域で活躍できるリーダーを養成する機会を増やす。					
事業費	千円		507	574		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
講座参加者数	人			2,420	2,470	平成27年度
			2,403	1,863		
成果指標分析結果	さらに多くの参加者数の増を図り、ボランティアとして活動していただける方を増やす。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 知識を習得するといった自己完結型な学習だけでなく、学習成果を次のリーダーに引継ぐことを視野に置き、学びの循環を構築することが必要である。また、地域リーダーの資質向上にも寄与している。

※事業費と財源内訳

決算額	574	内訳	国費	県費	市債	他	一般	574
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	生涯学習創出事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	平成23年度～永年	目	06公民館費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	060生涯学習事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	社会教育法		

【現状と課題】

現状と課題	学習を活かした自己実現とともに、学習の成果を活かすための取り組みの必要性が増加。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
生涯学習に関心をもつ市民	地域の生涯学習の拠点、また社会教育施設としての目的に則した講座等の開催				参加者自らの教養を高める	
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
加古川市人口(4/1付推計人口)		人		268,038	268,001	
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
講座開催回数		回		996	1,108	
活動指標分析結果	受講者の学習ニーズが多様化し、学習内容が画一的なものでは不十分になってきた。開催回数はもとより内容も重要視される傾向が強くなってきた。					
事業費		千円		3,541	3,555	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
講座参加者数		人			1,580	1,620 平成27年度
上段:計画値/下段:実績値				1,577	2,181	
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	地域性豊かなプログラムをニーズに応じて実施している。今後さらに幅広い世代に広げる工夫をし参加者数の増を図る必要がある。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
市民が自発的意思にもとづき、自己に最適な手段・手法を選んで生涯を通じて行う生涯学習を支援する施策として、様々なニーズに応じた講座等を行う中核的な場としての公民館機能を果たしている。	

※事業費と財源内訳

決算額	3,555	内訳	国費	県費	市債	他	3,135	一般	420
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	高齢者学習事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	社会教育・スポーツ振興課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	平成23年度～永年	目	06公民館費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	060生涯学習事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	社会教育法		

【現状と課題】

現状と課題	高齢者人口は増加しているが、受講者数は横ばいまたは減少傾向にある。また、学習したことを地域活動につなげることが十分ではない。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
市内の高齢者(60歳以上)	高齢者大学及びOB会の自主的な運営の支援・学習の成果を地域に還元できるものを重点とした講座等の開催				高齢者の生きがいの創造及び地域における高齢者のボランティア活動などへの参加促進を図る。・高齢者の学習意欲の高揚及び地域活動の機会の提供	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
高齢者人口	人		81,227	81,777		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
講座開催回数	回		256	272		
活動指標分析結果	高齢者の学習を支援することに加え、学習成果をボランティア活動や地域づくりに生かせるような内容の講座を開催していく。					
事業費	千円		1,959	1,953		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
講座参加者数	人			1,580	1,610	平成27年度
			1,571	1,596		
成果指標分析結果	高齢者人口は増加しているが、受講者数は横ばいまたは減少傾向にある。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
趣味や教養を高めるための知識を習得するといった自己完結型な学習だけでなく、学習成果を活用することを視野に置き、学びの循環を構築することが必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	1,953	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,953
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	図書館に要する一般的経費		
部局名	教育指導部	課(室)名	中央図書館

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	昭和46年度～永年	目	10図書館費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005図書館に要する一般的経費
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	教育基本法・社会教育法・図書館法・加古川市立図書館の設置及び管理に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	市民の高度な学習要求が高まっている中、市民の要望に応えるため、図書館サービスを充実させていく必要がある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川市に在住、在勤、在学している者及び東播磨地区に在住している者	図書館利用者が快適に利用できるように環境整備を行うとともに、職員の資質向上を図るため、積極的に研修に参加する。	図書館が市民の社会教育を支えるとともに、地域の文化力の向上を果たす。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		22,450	22,527		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
図書館利用者の貸出等業務の効率化及び快適に利用できるようにする。

※事業費と財源内訳

決算額	22,527	内訳	国費	県費	市債	他	104一般	22,423
-----	--------	----	----	----	----	---	-------	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	図書館維持補修事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	中央図書館

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	昭和46年度～永年	目	10図書館費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	010図書館維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	教育基本法・社会教育法・図書館法・加古川市立図書館の設置及び管理に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	建設当時の特殊な設備のため、修繕できない箇所が非常に多い。また耐用年数を相当過ぎてしまっている設備も多くなってきている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
加古川総合文化センター東棟(中央図書館)及び加古川図書館	加古川総合文化センター東棟の維持管理(指定管理者負担部分を除く)と加古川図書館の建物を含む敷地内の維持管理を行う。				両施設を不具合なく管理することで、それぞれの利用者が安全かつ快適に利用できるようにする。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円	21,202	21,042	21,193		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
加古川総合文化センター東棟、加古川図書館とも経年劣化による要修繕箇所が年々増加している。利用者に安全で快適に利用していたため、緊急度の高いものから年次的に計画を立て修繕していく必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	21,193	内訳	国費	県費	市債	他	31一般	21,162
-----	--------	----	----	----	----	---	------	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	中央図書館維持管理事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	中央図書館

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	平成21年度～永年	目	10図書館費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	010図書館維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	教育基本法・社会教育法・図書館法・加古川市立図書館の設置及び管理に関する条例・協定書		

【現状と課題】

現状と課題	東棟は昭和59年に建設されたため、かなり老朽化し、耐用年数を相当過ぎてしまっている設備も多くなってきている。東棟の維持管理に係る費用を指定管理者と面積按分している。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川総合文化センター東棟	加古川総合文化センター東棟の維持管理(設備管理運転、清掃業務、警備業務等)	施設を不具合なく管理することで、利用者が安全かつ快適に利用できるようにする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		14,317	14,239		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 設備の点検、清掃、警備など東棟を維持管理するためには必要不可欠な事業である。
--

※事業費と財源内訳

決算額	14,239	内訳	国費	県費	市債	他	一般	14,239
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	読書啓発事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	中央図書館

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	昭和46年度～永年	目	10図書館費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005図書館に要する一般的経費
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	教育基本法・社会教育法・図書館法・子どもの読書活動の推進に関する法律・文字活字文化振興法		

【現状と課題】

現状と課題	市民の高度な学習要求が高まっている中、適切に潜在的な要求に即応した図書の選定及び購入、読書啓発が効果的に実施できる講座等の開催など、事業展開をするうえで課題は残されている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
加古川市に在住、在勤、在学している者及び東播磨地区に在住している者。	幅広い利用者のニーズに即応できるよう、必要かつ計画的な図書・資料の収集を図り、市民に資料と情報を提供するとともに、おはなし会や各種講座等の集會行事の開催により、読書啓発を図る。また、レファレンスサービスを充実し、市民の学習を支援する。	図書館が市民の社会教育を支えるとともに、地域の文化力の向上を果たす。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
年間貸出人数	人	259,416	252,151	246,452		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
蔵書数	冊	486,600	488,169	495,286		
レファレンス件数	回	2,191	2,131	2,215		
集會行事の参加者数	人	5,713	6,086	5,497		
活動指標分析結果	レファレンス件数が微減となっているものの、蔵書数はこれまでの取組みにより、微増傾向にあるとともに、集會行事の参加者数についても、対前年度比6.5%の増となっており、概ね妥当であるとする。					
事業費	千円	34,135	34,057	34,182		

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
年間図書貸出冊数	冊	858,542	830,744	830,800	833,236	平成27年度
市民一人当たりの図書貸出冊数	冊	3.2	3.1	3.1	3.1	平成27年度
成果指標分析結果	年間図書貸出冊数が対前年度3.2%減少している。これはインターネット等の普及をはじめ、娯楽の多様化によることが一因だと考えられる。各種事業の展開はもちろんのこと、より魅力ある図書館を目指す必要がある。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合が考えられる(市役所内の類似事業)
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
各種集會行事の実施や適切かつ有効な資料の選定等により、地域の実情に即した学習環境の整備が施策の意図に則り展開されており評価できる。高度化・多様化する市民の学習ニーズに対応し、学習機会を充実させるため、取り組む内容の質的向上を図りながら現行事業を継続して実施していく。また、「加古川市子どもの読書活動推進計画」の実実施計画に基づいた取組みを行い、家庭及び小学校に対する読書環境整備についても継続する必要がある。	

※事業費と財源内訳

決算額	34,182	内訳	国費	県費	市債	他	4,336	一般	29,846
-----	--------	----	----	----	----	---	-------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	青少年女性センター運営に要する一般的経費		
部局名	教育指導部	課(室)名	青少年育成課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	平成2年度～永年	目	03青少年教育費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	015青少年女性センター維持管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市立青少年女性センターの設置及び管理に関する条例、同条例施行規則		

【現状と課題】

現状と課題	築20年以上経過し、備品の劣化・故障等が多く見られるため、修繕の必要がある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
青少年グループ、女性団体、子育てグループ等の青少年女性センターを利用する団体。	施設及び備品の維持、管理を行う。	青少年女性センターを利用する団体に対し、施設を気持ちよく利用できる環境を整え、利用者の拡大および地域における市民サークル活動の推進を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		675	531		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
市民の生涯教育活動を促進し、青少年の健全育成及び女性教育の振興を図るための施設として建築され、現在もその目的に基づいて貸館業務等を行っており、使用頻度も高い。今後もニーズが見込まれるため、事業を維持していく必要がある。	

※事業費と財源内訳

決算額	531	内訳	国費	県費	市債	他	87	一般	444
-----	-----	----	----	----	----	---	----	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	青少年女性センター維持管理事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	青少年育成課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	平成2年度～永年	目	03青少年教育費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	015青少年女性センター維持管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市立青少年女性センターの設置及び管理に関する条例、同条例施行規則		

【現状と課題】

現状と課題	築20年以上が経過し、施設設備の劣化により正常な貸館業務を行えないことがある。空調機器やエレベーター等現行法に合致していない設備も見られるため、最新機種へ変更するよう業者に勧められている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
青少年グループ、女性団体、子育てグループ等の青少年女性センターを利用する団体。	館の清掃を毎日行い、設備の点検を定期的に行う。	青少年女性センターを利用する団体に対し、施設を気持ちよく利用できる環境を整え、利用者の拡大および地域における市民サークル活動の推進を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		9,480	10,484		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	市民の生涯教育活動を促進し、青少年の健全育成及び女性教育の振興を図るため施設として建築され、現在もその目的に基づいて貸し館業務等を行っており、使用頻度も高い。今後もニーズが見込まれるため、事業を維持していく必要がある。
--	---

※事業費と財源内訳

決算額	10,484	内訳	国費	県費	市債	他	1,024	一般	9,460
-----	--------	----	----	----	----	---	-------	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	視聴覚センター管理運営事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	教育研究所

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	昭和60年度～平成26年度	目	11視聴覚センター費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005視聴覚センター運営事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	社会教育法、図書館法、加古川市立視聴覚センターの設置及び管理に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	コンピュータ等の情報機器の発達により、視聴覚センターの役割にも再検討が必要になってきた。またセンター開設後30年近くが経過し、教材・機器類の旧態化・劣化が著しい。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
学校教育施設及び社会教育施設における視聴覚教育活動	視聴覚センターの施設、及び視聴覚教材・教育機器を使用させる。(視聴覚センター全体の管理運営)	視聴覚教材の利用等を通じて、視聴覚教育の振興を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		962	795		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
人権教材の人権文化センターへの移管だけでなく、その他教材の中央図書館への移管を行うことが可能なか、そのことによって市民サービスが維持されるのか早急に結論を出す必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	795	内訳	国費	県費	市債	他	一般	795
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	視聴覚教育事業		
部局名	教育指導部	課(室)名	教育研究所

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして	会計	01一般会計
政策	02地域における教育・学習環境を整備する	款	10教育費
施策	01生涯学習を推進する	項	07社会教育費
期間	昭和60年度～平成26年度	目	11視聴覚センター費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010視聴覚教育事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	社会教育法、図書館法、加古川市立視聴覚センターの設置及び管理に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	コンピュータ等の情報機器の発達により、視聴覚センターにおける視聴覚教育の役割にも再検討が必要となってきた。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
学校園、社会教育関連団体、社会福祉施設等における視聴覚教育活動	視聴覚センターの施設、及び視聴覚教材・機器を用いて、調査研究・指導助言等を行う。	社会教育・学校教育両面にわたる視聴覚教育の充実を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川市人口(4/1付推計人口)	人			268,001		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
全視聴覚教材数	件	2,864	1,997	1,942	1,711	平成26年度
全視聴覚機器数	台	140	71	78	34	平成26年度
活動指標分析結果	視聴覚センターが保有し、貸出可能な視聴覚教材数・機器数である。老朽化した機器等の整理を進めるとともに、人権文化センター等への移管を予定している。					
事業費	千円	591	494	498		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
視聴覚教材利用件数	件		600	500	390	平成26年度
上段:計画値/下段:実績値		631	564	399		
視聴覚機器利用件数	件		150	200	170	平成26年度
上段:計画値/下段:実績値		198	201	178		
成果指標分析結果	数年間で比較するならば、視聴覚教材・機器とも貸出数は相当に減少している。(19年度は、貸出教材数936件、貸出機器数290件である)					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は小
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合が考えられる(市役所内の類似事業)
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
人権教材の人権文化センターへの移管だけでなく、その他教材の中央図書館への移管を行うことが可能なか、そのことによって市民サービスが維持されるのか早急に結論を出す必要がある。また、視聴覚機器を活用した情報教育に関する研修は、研修事業に統合できるよう検討する。

※事業費と財源内訳

決算額	498	内訳	国費	県費	市債	他	一般	498
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----